

こがくほう -古河公方公園- 公園だより



ジョウビタキ

2023年2月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■ハナモモの植樹開始

■古河市によるハナモモの植樹が始まりました。今年度は約130本の植樹を予定しております。春には若いながらかわいらしい花を咲かせることでしょう。



■わたらせ水辺の楽校

1/22



■1月22日(日)、古河市主催のわたらせ水辺の楽校の自然体験イベントが園内で実施されました。野鳥観察などを行い、子どもたちは、学びと共に楽しいひと時を過ごすことができました。

■熱気球イベント

1/22

■1月22日(日)、(一社)まくらが DMC 主催のイベント「熱気球フライト体験とプチバルーングロー」が実施されました。熱気球と一緒に立ち上げる親子バルーン教室や、熱気球で上空20mまで上昇する係留フライト体験と、内容盛りだくさん。夕方にはバルーングローも実施され、夕日とバルーンの炎が見事な情景を作り出していました。



■熱気球体験搭乗

1/29

■1月29日(日)、公園主催の熱気球体験搭乗(協力:古河バルーンクラブ)を実施しました。寒波の影響で、御所沼に氷が張るほどの寒い時期でしたが、天候にも恵まれ、澄み渡るような青空の下、カラフルなバルーンが空に浮かびました。上空20mからの景色を楽しめる係留フライトで、空気も澄んでいたため、富士山や浅間山、男体山など遠くの雪山まで見渡すことができました。今回の体験がみなさんの良い思い出になれば幸いです。



■ハギの剪定ボランティア

1/20

■1月20日(金)もりもりクラブ、みどりネットワークのみなさんに、公園のハギの剪定をお手伝いいただきました。ハギは、その年に生えた新しい枝(新梢〔しんしょう〕)に花が付くため、剪定作業がとても重要になります。みなさん、ご協力ありがとうございました。また、剪定したハギの枝を束ねて粗朶(そだ)にし、御所沼の岸辺の浸食を防ぐ植物材料の護岸に再利用する予定です。



粗朶(そだ)による護岸

護岸に粗朶を使うことで、生態系への負荷をなくすことができます。粗朶の隙間が魚の産卵場所や植物の育成場所としての役割を果たし、また、土木的な観点から、御所沼の波による岸辺の浸食を防ぐ役割も果たします。

○新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください○

- ・手洗い、手指消毒、うがいを実施しましょう。
- ・3密を回避し、人との距離を確保しましょう。
- ・場面(屋内、屋外)に応じて、適切にマスクを着脱しましょう。

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。